

地本業務ニュース

JR 東海労・静岡地方本部

NO.12 2011年6月9日発行者：JR東海労静岡地方本部 山本繁明

「ATS-PTの問題点」に対する 業務委員会開催

6月8日、地本は申9号「ATS-PT導入にあたっての問題点について」の業務委員会を開催し、労働組合としての立場から改善を要求しました。しかし会社は、「その負担は耐えられないほど限界か?」「楽をしたいのか?」など開きなおったとも思える発言に終始し議論の進展を見ることが出来ませんでした。会社からの回答および、議論内容は以下のとおりです。

1. 他会社と比較して「非常ブレーキ動作の方がより安全である」と主張しているが、その根拠を明らかにすること。

【回答】ATS-PTが動作するのは、速度超過・冒進の限界に達したという異常状態であり、即時に列車を停止させるべきと考えているので変更する考えはない。

2. ATS-PTで照査パターンに抵触した場合、非常ブレーキによらないで常用ブレーキ動作に変更すること。

【回答】変更する考えはない。

3. 更新用地上子を増設すること。

【回答】そのような考えはない。

4. パターンが更新された時、運転士に音で知らせる等判るようにすること。

【回答】そのような考えはない。

5. JR 東日本の ATS-PT 型は照査パターンに抵触した場合、常用最大ブレーキとなるが JR 東海の ATS-PT 型も、「ピン」を抜くだけで非常ブレーキではなく常用最大ブレーキへの動作に変更できると聞いたが、本当ならば何故変更しないのか明らかにすること。

【回答】そのような車両構造とはなっていない。

会「過度の負担とは考えていない！」
組「労働条件の改善で申し入れている！」

組合：1 の回答はどう解釈すればいいのか？ATS-PT は速度超過・冒進の限界に達する前に動作するではないか！例えば入換信号機の制限速度は 25 km/h であるが、10 km/h 未満で建植位置まで走行しなければパターンに抵触して非常ブレーキが動作するではないか！

会社：他会社のものでも、必ず緩解するのではなく止まるようになっている。

組合：これまでに ATS-PT 動作で停止した件数はどれくらいあるのか？

会社：数件(10件に満たない)である。運転に神経を遣っているのは理解するが、時間が足りないとか恒常的にATS-PTによるブレーキ動作の事象は発生していないと認識している。

組合：ブレーキ動作件数に、障検で停止した数は含まれているのか？まさに4であるが、パターンを更新したか否か運転台で判断出来るようにされたい。

負担を軽減するように申し入れている。

会社：障検によるブレーキ動作は含まれていない。乗務員に限らず新しいシステムが導入されたときは学習するでしょ。

組合：学習はしている。しかしATS-PTに関しては様々な取扱いが増えたため、不安を感じながら仕事をしている。1月の導入時にはATS-STとATS-PT車両が混在し、上り列車はATS-ST、下り列車はATS-PTと運転士に大変な負担がかかった。現在も支線区はATS-STである。何故導入を急いだのか甚だ疑問である。少しでも取り扱いを軽減されたい。

会社：ATS-PT導入で簡素化できたものもある。例えば、ロング地上子の確認扱いが無くなり、誤ってパン下げボタンを押すような事故を無くすことができた。

組合：それは簡素化ではない。ATS-PTの特徴ではないか。総合的に取扱いと対応は増加している。

会社：保安度と簡素化のどちらかを優先させるかといえば、当然保安度である。負担というが耐えられないほどの負担ということか？

組合：安全を確保しながら負担度を減らすということでもいいか？

会社：今の時点で考えていない。必要性がない。

組合：運転士の間では、ATS-PTの負担が大きいとの話をよく聞く。安全を確保しつつ、負担度を軽減されたい。例えば地上子を増やすことである。

会社：地上子を増やすといい事があるのか？

組合：更新の間隔が短くなり運転士の負担が減る。

会社：安全は？

組合：変わらないが遅れは出ない。

会社：整理すると、運転士の負担は軽減されるが、安全性は向上せず保守でも金が掛かる。運転士に楽をさせるための措置をしろということか？トータルで話をしてもらいたい。

組合：耐えられない負担か？など極論の話をしているのではない。

我々は、労働組合の立場から労働者の労働条件の改善で負担を軽減するよう求めている。会社が新しいシステムを導入する場合、安全性の向上および取扱いが簡素化となるようなシステムを導入するべきである。

会社：貴側の意見は聞いておく。ATS-PTの導入により保安度が向上したことは、共通認識であると確認した。会社としては、過度な負担とは考えていない。設計思想に問題があれば見直していく。

以上